

高性能断熱耐火

木毛セメント板(硬質・中質)・イソシアヌレート保温板 複合板

ショーカラボード Fi

屋根30分耐火構造

FP03ORF-0145(木毛セメント板屋内側)

FP03ORF-0152(木毛セメント板屋外側)



株式会社 栄進工業

安全で快適な空間を造ります

次世代省エネルギー基準をクリアする製品の第2段として、イソシアヌレート(硬質ウレタンフォーム)との組合せでの屋根30分耐火構造の開発に成功しました。

金属板葺屋根の他に粘土瓦葺やスレート、シングル葺屋根などにもご使用いただけます。



特 徴

防火性能 —— 屋根30分耐火構造認定を取得しています。

断熱性能 —— 断熱性抜群のイソシアヌレート保温材を使用していますので、小屋裏部分等も快適な外断熱工法に匹敵します。建築物の高断熱化を推進することにより、エネルギー資源及び二酸化炭素排出量の削減に役立ちます。

音響性能 —— 硬質木毛セメント板によって外部からの遮音性能が向上しています。

環境配慮 —— グリーン購入法指定資材の木毛セメント板の他、全ての構成材(接着剤含む)において、アスベストなど健康を害する有害物質は一切使用していません。ホルムアルデヒド等放散低減型建材です。

意匠性・施工性 —— 金属板葺の他に粘土瓦葺やスレート、不燃シングル葺にも使用できます。複合板ですので施工時間が大幅に省略できます。

規格性能(規格寸法 910×1,820mm)

木毛セメント板 [mm]		イソシアヌレート [mm]	総厚 [mm]	曲げ破壊荷重 [N]	ビス引抜強さ [N]		熱抵抗値 [㎡K/W]	熱貫流率 [W/㎡K]
					引 抜	逆引抜		
硬 質	20	10	30	1,800以上	1,000	2,000	0.630	1.587
		15	35				0.868	1.152
		20	40				1.106	0.904
		25	45				1.344	0.744
		30	50				1.582	0.632
		40	60				2.059	0.486
		50	70				2.535	0.395
	25	10	35	2,500以上	2,000	3,000	0.688	1.496
		15	40				0.907	1.103
		20	45				1.145	0.874
		25	50				1.383	0.723
		30	55				1.621	0.617
		40	65				2.097	0.477
		50	75				2.573	0.389
中 質	20	10	30	1,000以上	—	—	0.650	1.538
		15	35				0.888	1.126
		20	40				1.126	0.888
		25	45				1.364	0.733
		30	50				1.602	0.624
		40	60				2.079	0.481
		50	70				2.555	0.391

木毛セメント板 [mm]		イソシアヌレート [mm]	総厚 [mm]	曲げ破壊荷重 [N]	ビス引抜強さ [N]		熱抵抗値 [㎡K/W]	熱貫流率 [W/㎡K]
					引 抜	逆引抜		
中質	25	10	35	1,500以上	—	—	0.694	1.442
		15	40				0.932	1.073
		20	45				1.170	0.855
		25	50				1.408	0.710
		30	55				1.646	0.608
		40	65				2.122	0.471
		50	75				2.598	0.385

※熱貫流率について、表面熱伝達率は考慮していません。

遮音性能

周波数		Hz	125	250	500	1,000	2,000	4,000
透過損失	20+20	dB	18.67	23.80	29.08	34.47	39.94	45.48
	25+20	dB	20.26	25.45	30.77	36.18	41.68	47.23

※構成：硬質木毛セメント板(t20mm又は t25mm)＋イソシアヌレート(t20mm)

屋根30分耐火構造

認定番号・構成材料

認 定 番 号	FP03ORF-0145(木毛セメント板が屋内側) FP03ORF-0152(木毛セメント板が屋外側) ※野地板の順序によって認定番号が変わりますのでご注意ください！		
屋 根 の 種 類	金 属 板 葺	横葺、瓦棒葺、立平葺、瓦葺、折板葺	FP03ORF-0145
	瓦 葺	粘土瓦葺	FP03ORF-0152
	金 属 板 葺	横葺、瓦棒葺、立平葺、瓦葺、折板葺	
	スレート葺	化粧スレート葺、波型スレート葺、厚形スレート葺	
	シングル葺	不燃シングル葺	
野 地 板	・ 木毛セメント板：厚20mm以上、比重0.86以上、準不燃材料QM-9701 ・ イソシアヌレート保温板：厚50mm以下、密度40kg/m³以下		
ジ ョ イ ナ ー (あり又はなし)	形状：T型、H型、ハット型 材質：溶融亜鉛めっき鋼板、厚0.3mm以上 他		
防 水 材	アスファルトルーフィングフェルト 他		
支 持 部 材	形状：H-150×75×5×7mm以上 間隔：構造計算等によって構造安全性が確かめられた寸法		
た る き	C-100×50×20×2.3mm以上、間隔606mm以下		

屋根の施工方法

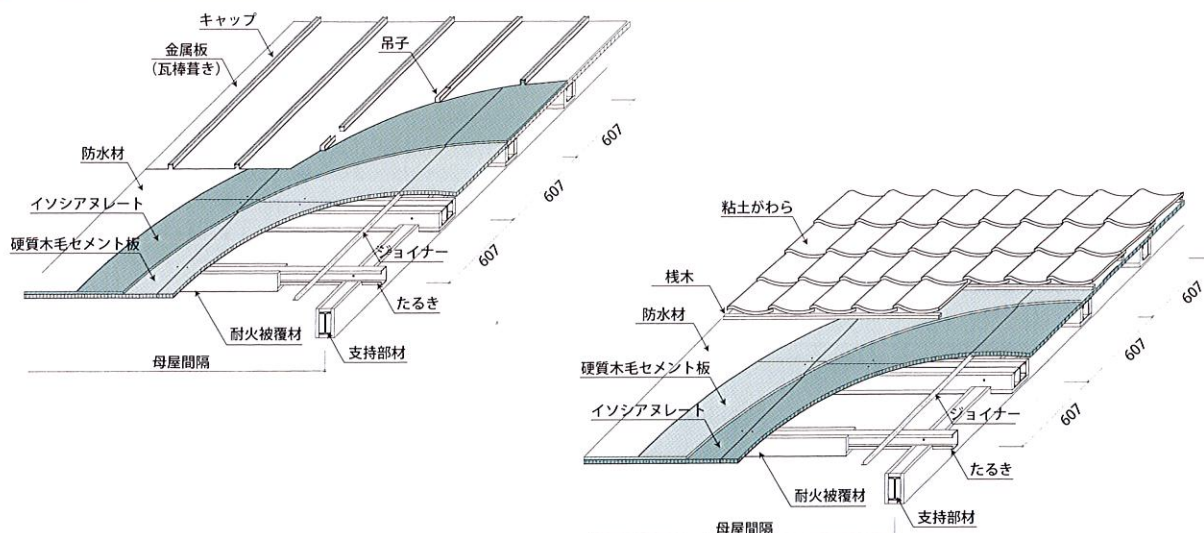
※母屋及びたるきには1時間耐火被覆を行って下さい。(但し、平成12年建設省告示第1399号第4号三、二に該当する場合は必要ありません)

※野地板のジョイント部はたるきをダブルで使用して下さい。

※野地板の取付けは、ドリリングタッピンビスを用いて端部から100mm以内の位置で、間隔は500mm以下として下さい。

※野地板施工後は速やかに防水材を100mm程度重ねながらタッカー等で仮止めして下さい。

構造説明図



注 意 事 項

保管上の注意

- ・屋内の平滑なところに保管して下さい。やむをえず屋外に保管する場合は、シートなどにより風雨や水漏れを防止して下さい。
- ・積み上げ高さは3m以下として下さい。
- ・火気には十分に注意して下さい。

移動上の注意

- ・移動の際は、ワイヤーの食い込みなどにより傷ついたり欠けたりしますので、損傷の無いよう十分に注意して下さい。

施工上の注意

- ・下地の施工後は速やかに防水材、表面材を施工して下さい。
- ・たるきの上に重ね置きする場合は導板を使用し、重量には十分に注意して下さい。又、はね出して置かないよう十分に配慮して下さい。
- ・工事中の屋根の上を歩行する場合は必ず導板の上を歩いて下さい。
- ・切断時には粉塵が発生しますので、粉塵吸引装置を設置し、作業服を着用の上、防塵マスク、防護メガネ等を使用して下さい。
- ・粉塵が目に入った場合は、こすらずきれいな流水で洗浄して下さい。また、粉塵を吸引した場合はうがいをし、洗い出して下さい。
- ・ご不明な点がございましたら、メーカー又は特約店にお問い合わせ下さい。

【製 造 元】

株式会社 **栄進工業**

日本工業規格適合性認証工場・国土交通省準不燃材料認定工場
〒689-0603 鳥取県東伯郡湯梨浜町小浜756-3
TEL(0858)34-2711 FAX(0858)34-2712
E-mail:info@eishinkougyo.jp